



# ESPAセミナー第11回

## 発達障害の理解と支援

<b>日 時</b>	平成29年7月2日(日) 9:30~16:30 (受付 9:15~)
<b>プログラム</b>	<p>9:30-11:00 「発達障害を考える ～診察室より想うこと～」 小沢 浩 先生 ●島田療育センターはちおうじ 所長 (小児科医)</p> <p>11:10-12:10 「発達性協調運動障害 ～日常の困り感とPTの視点からの対応～」 網本 さつき 先生 ●昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 (理学療法士)</p> <p>12:10-13:10 お昼休み</p> <p>13:10-16:10 「ビジョントレーニングについて ～子どもたちの可能性を広げる～」 北出 勝也 先生 ●視機能トレーニングセンターJoyVision 代表</p> <p>16:10-16:30 質疑応答</p>
<b>参加費</b>	6,000 円
<b>会 場</b>	国立商協さくらホール (JR中央線国立駅徒歩2分) 東京都国立市 東 1-4-6
<b>定 員</b>	70名 (テーマに関心のある方どなたでも) ※定員になり次第締めさせていただきます。
<b>主 催 お問合せ</b>	ESPA 有限責任事業組合 (エスパ有限責任事業組合) <a href="http://www10.big.or.jp/~espa-llp/">http://www10.big.or.jp/~espa-llp/</a> E-mail <a href="mailto:espa-llp@big.jp">espa-llp@big.jp</a>
<b>お申し込み</b>	先着順 裏面をご覧ください。

\* 内容につきましては、やむを得ない事情で、変更する場合がございますことをあらかじめご了承ください。

\* 机がございませんので、クリップボードをお持ちください。

## 📎 申し込み方法について

できる限りメールにてお申し込みください。✉

E-mail [espa-llp@big.jp](mailto:espa-llp@big.jp)

- ① FAX の場合は、記入事項を明記し、送信票をつけずにこの用紙のまま、お一人1枚で、お申し込みください。  
送付先は、FAX 03-5389-0891 新田宛
- ② 申し込みをされた方には、後ほど【受付番号】と詳細な通知をお送りいたします。
- ③ 申し込み期限は **6月11日(日)** といいたしますが、お早めのお手続きをお願いします。
- ④ 会場の都合上、申込者が予定人数に達しました段階で、お断りさせて頂くことがあります。

📎 記入事項はこちらです。

お名前、所属、職種、ご連絡先（時間などの指定もあれば）は必須でお願いいたします。

件名：ESPA セミナー第11回（7/2）の参加を申し込みます。			
①所属		ご 連 絡 先	④住所 〒 _____
②職種			⑤電話
③ふりがな お名前	( )		⑥FAX
			⑦E-mail
⑨講師へ の質問			

一週間以内に返信が送られてこない場合には、FAX (03-5389-0891) または

E-mail [espa-llp@big.jp](mailto:espa-llp@big.jp) までお問い合わせをお願いします。

## 🌀 🌀 🌀 今回のセミナー企画意図 🌀 🌀 🌀

### <企画意図と講師紹介>

エспа活動10周年の記念すべきセミナーを、「発達障害の理解と支援」と題し開催致します。様々な職域で出会うことが増えた「発達障害」について、理解を深め支援に生かす目的で企画致しました。

昨今「発達障害」が一般に知られるようになり、インターネットでも容易に情報を得ることができるようになりました。しかし「何となく分かるけど」あるいは「いろいろな病名があって上手に説明できない」と言う方も多いのではないのでしょうか。

まず 発達障害の枠組みについて、島田療育センターはちおうじ所長 小沢浩先生に解説して頂きます。小沢先生は診療所での診療の傍ら、保健事業での早期の対応、学校現場における特別支援教育への助言なども精力的になさっており、現場の実情を交えたお話をお聞きできることでしょう。

発達障害のうち、多動、衝動性や、コミュニケーションが苦手やとりが上手く成立しないといった特性は集団の中で目立ち、早期に支援の対象となります。一方で学習面の困難さ、身辺処理をはじめとする運動の苦手さは、個人の学習能力や運動能力とされ、支援が遅れがちです。

「音読をすることや本をスムーズに読むことが苦手」

「授業中に板書をノートに書き写すのに時間がかかる」  
「ボール遊びなどの運動が苦手」

「手先が不器用で箸やはさみなどを使うのが苦手」  
こうした学習や日常生活において苦しさや困難を感じる子どものなかには、視覚機能(見る力)に問題を抱えている場合があります。ものを見るためには、視力だけでなく、対象に視線やピントを合わせたり、形や色を見分けたり、見たものを脳で処理して体を動かしたりと、さまざまな能力が必要です。これらの見る力が弱いと、上記のような様々な困難が生じやすくなります。

午前の後半は「発達性協調運動障害」について理学療法士網本さつき先生にお話し頂きます。視覚機能と運動発達との関連についても、分かり易く解説して頂きます。

さらに午後は『JoyVision』代表北出勝也先生に、「視覚機能の発達と運動機能や学習との関連」について、さらに詳しいお話と視覚機能を向上させるための「ビジョントレーニング」について解説して頂きます。子どもに合ったトレーニングを選んで続けていけば、見る力は段々とアップしていき、学習や運動、生活の困難さを改善していくことができると思います。今回のセミナーも皆様の明日からの業務に必ずお役に立つことと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。